

一 千葉大学法学会主催・共催の講演会

(敬称略)

二〇二三年度に次の講演会が催されました。

二〇二三年五月一三日 一三時三〇分

題目 千葉県弁護士会パネルディスカッション「弁護士という仕事について―その魅力・やりがい・社会的意味―」

講師 大薄 裕也(弁護士・専門法務研究科修了生)

佐賀 絃人(弁護士)

高橋 亜衣(弁護士・専門法務研究科修了生)

丹野 大輔(弁護士・専門法務研究科修了生)

二〇二三年一月二日 一〇時三〇分

題目 労働法I特別講義「労働基準監督官の仕事」

「あなたの正義感を働く全ての人のため」

講師 竹中広治郎(千葉労働局労働基準部 特別司法監督官)

二〇二三年二月二日 一八時

題目 「法政経学部・専門法務研究科出身の本年度

講師

司法試験合格者による合格体験講演会」

友枝 春菜(令和五年司法試験合格・法政経

学部卒・専門法務研究科修了生)

尾上 綾汰(令和五年司法試験合格・法政経

学部卒・専門法務研究科修了生)

荒井 凌(令和五年司法試験合格・法政経学

部卒・専門法務研究科修了生)

木本 貴翔(令和五年司法試験合格・法政経

学部卒・専門法務研究科修了生)

鳴原 遼我(令和五年司法試験合格・法政経

学部卒・専門法務研究科修了生)

川島 ゆい(令和五年司法試験合格・法政経

学部卒・専門法務研究科修了生)

二〇二三年二月二六日 一四時三〇分

題目 令和五年司法試験論文式試験民事系科目第3

問(民事訴訟法)及び同選択科目(倒産法)の解説

講師 高倉 太郎(弁護士・専門法務研究科修了生)

二〇二四年一月一日 一七時五〇分

題目 公務員ガイダンス

講師 榎本 光貴(法学コース学生・千葉県庁内定)

鈴木 優華（法学コース学生・農林水産省内定）
原 知香代（法学コース学生・東京地方裁判所内定）
岩田 知久（政治学・政策学コース学生・環境省内定）

二〇二四年三月七日 一二時五〇分

題目 令和五年司法試験予備試験問題検討会
講師（憲法） 山本 悠一（弁護士・専門法務研究科修了生）

（刑法） 瀬野 泰崇（弁護士・専門法務研究科修了生）
（民法） 荒木 尚（弁護士・専門法務研究科修了生）

二 研究会活動

千葉大学法政経学部内で、二〇二三年度に次の研究会が開催されました。

1 千葉大学「国際高等研究基幹研究支援プログラム」公正社会研究の新展開

二〇二三年六月二十一日 オンライン国際セミナー
テーマ Social Fairness and Work Engagement in Canada during COVID-19: A Business Di-

Mension

コーディネーター 石戸 光
報告者 Patrick Chardon（アルゴンキンカレッジ教授）
討論者 水島 治郎
小林 正弥

二〇二三年七月三日 オンラインセミナー

テーマ 第二回国際温暖化対策研究会
もと理系の視点から地球温暖化問題とひとの対応

コーディネーター 張 曉芳（千葉大学国際高等研究基幹特任助教）

報告者 近藤 昭彦（千葉大学名誉教授）

二〇二三年九月六日 オンラインセミナー
テーマ 第二回国際温暖化対策研究会

公正な政策づくりを目指して
コーディネーター 張 曉芳（千葉大学国際高等研究基幹特任助教）

報告者 諸富 徹（京都大学教授）

張 曉芳（千葉大学国際高等研究基幹特任助教）
討論者 水島 治郎
石戸 光

二〇二三年十一月八日 内部研究会
テーマ Wellbeing and Public Policy: A Focus on

the Former (Wellbeing)

コーディネーター 石戸 光

報告者 Arthur Grimes (ヴィクトリア大学ウェリントン)

トーン教授)

水島 治郎

小林 正弥

石戸 光

二〇二三年十一月九日 内部研究会

テーマ Wellbeing and Public Policy: A Focus on

the Latter (Public Policy)

コーディネーター 石戸 光

報告者 小林 正弥

討論者 Arthur Grimes (ヴィクトリア大学ウェリントン)

トーン教授)

水島 治郎

石戸 光

二〇二四年二月十九日 内部研究会

テーマ Fair-society through Business Innovation

コーディネーター 石戸 光

報告者 Patrick Chanton (アルゴンキンカレッジ教授)

Chris Castillo (アルゴンキンカレッジ教授)

二〇二四年二月二十日 内部研究会

テーマ Best Business Practices in a Post-Covid World

コーディネーター 石戸 光

報告者 Patrick Chanton (アルゴンキンカレッジ教授)

Chris Castillo (アルゴンキンカレッジ教授)

二〇二四年二月二十一日 ハイブリッドセミナー

テーマ How to Start up a Business in the Post-Pandemic Fair Society

コーディネーター 石戸 光

報告者 Patrick Chanton (アルゴンキンカレッジ教授)

Chris Castillo (アルゴンキンカレッジ教授)

二〇二四年三月十四日 人工知能技術と法理論セミナー

テーマ イノベーション、そしてレギュレーション

コーディネーター 川瀬 貴之

報告者 陳 弘儒 (台湾・中央研究院研究員)

横田 明美 (明治大学法学部教授)

白石 友行 (千葉大学社会科学部教授)

西貝 吉晃 (千葉大学社会科学部教授)

コメント 川瀬 貴之

二〇二三年五月一八日 第九五回

2 千葉少年問題研究会

二〇二三年五月一八日 第九五回

テーマ 『「こどものみ・か・た」―背景への理解―』

報告者 山口 修平 (児童養護施設 一宮学園)

二〇二三年七月二〇日 第九六回

テーマ 「少年友の会の活動―歴史と現状―」

報告者 横山 勝 (東京少年友の会会員・元家裁調査)

二〇二三年九月二十八日 第九七回
官)

テーマ 「親に頼れない困窮している子どもたち、若者たちのオンライン支援現場から」

報告者 今井 紀明（認定NPO法人D×P理事長・株式会社SOLIO代表）

二〇二三年十一月十六日 第九八回

テーマ 「子どもたちの居場所としての歌舞伎町、少年院と支援」（仮）

報告者 渡邊 美代子（一般社団法人コットンママ社 会福祉士事務所わたなべワーカーズ）

二〇二四年一月一八日 第九九回

テーマ 「有明高原寮の教育活動について」

報告者 梶原 経宏（有明高原寮 首席専門官）

二〇二四年二月一七日 第一〇〇回

テーマ 「最近の子どもをめぐる状況」

報告者 河原 俊也（千葉家庭裁判所少年部部総括裁判官）

渡邊 直（千葉中央児童相談所所長）

後藤 弘子（千葉大学教授）

三 修士論文題目

二〇二三年年度の千葉大学大学院 人文公共学府博士前期課程修了者（法学・政治学系）修士論文の題目は、次の通

りです。

東 佑樹 現代イランにおけるクルド人の動向とクルド政策

松野 有 刑罰正当化論における権利喪失論の可能性について

柴田 拓海 言語・政党・連邦―ポピュリズム拡大のベルギー的文脈

今井 英理 湾岸アラブ諸国における受入国国民と移民労働者の関係―雇用者と家事労働者の関係に着目して―

四 博士論文題目

二〇二三年年度の千葉大学大学院 人文公共学府博士後期課程修了者（法学・政治学系）博士論文の題目は、次の通りです。

SAMIMUZZAMAN Understanding South Asian Politics: Perspectives of Small Countries and the Involvement of Regional Powers 南アジア政治の理解―小国と地域大国の関与の視点から